

令和 6 年度

学校自己評価表（計画）

学 校 運 営 計 画		
学校運営方針	1 探究学習を中核として、自己肯定感を高め主体的に自己実現に向かうことができる生徒を育成する。 2 基礎学力の向上と学習意欲の喚起を図るとともに、自分で自分の学びを調整しながら進路希望の実現にむけ粘り強く取り組む生徒を育成する。 3 保護者や地域と連携した取り組みを積極的に推進し、地域貢献できる生徒を育成する。 4 教員集団が互いの良さを認め合いながら組織的な学びの場を構築し、授業改善研修や生徒指導研修、ICT活用研修等を通じて生徒の成長を支援する。 5 「県立学校における教員の勤務時間の上限に関する方針」を遵守することによる、生徒と向き合う時間を確保する。	
三つの方針(スクール・ポリシー)		
育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①地域社会と積極的に交流することで、各自の興味・関心に基づく課題を見出し、学習活動で得た知識・技能をもとに、論理的に思考し主体的に解決策を見出す能力を育成する。 ②自分の主張を分かりやすく他者へ伝え、異なる主張に対しても、協調的に意見交換しながら合意形成を図ることができる能力を育成する。 ③正解のない問いや、困難な状況に際しても、他者と協力して、粘り強く挑戦し続ける態度を育成する。 ④自分のよさや強みを自覚し、うまくいかない状況に際しても、自己をうまく管理する柔軟な態度を育成する。	
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①情報端末や、教育サービスを積極的に活用し、すべての生徒が主体的かつ意欲的に学ぶことができる教育活動を展開する。 ②個々の生徒の特性や理解の状況に応じた最適な学びを提供し、かつ生徒が互いに交流しながら協調的に学びあえる授業を行う。 ③地域社会と連携することで、豊かな体験活動の場を設けながら、教科とも連携した探究学習を行う。 ④生徒が自らの学びを振り返るとともに、教師が指導の改善を図ることができる学習評価を行いながら、常に教育活動の質の向上を図っていく。	
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	～このような生徒を求めています～ ① 自己の可能性を肯定的にとらえ、意欲的に学ぶことができる生徒 ②地域に関心をもち、地域の自然や文化、産業に興味を持って自ら学ぶことができる生徒 ③主体的に行動し、困難を乗り越え、仲間と協力しながら、粘り強く取り組むことができる生徒 ④教室での学習活動だけでなく、課外活動にも熱心に取り組むことができる生徒	
昨年度の成果と課題	6年度の重点目標	具体的目標
総合的な探究の時間の内容をリニューアルし、テーマに沿った取組を推進することができた。今後各学年のテーマに沿った内容を計画的に行い、課題を発見し解決してい	(1) 観点別評価の着実な実施と指導と評価の一体化に向けた授業改善を図る。	・ 観点別評価を確実に実施し定着を図る。 ・ 授業改善を行い「主体的・対話的で深い学び」を深化させる。 ・ ICTの活用による個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を図る。
	(2) 進路希望実現に向けた計画的な進路指導の取組	・ 前年度同等の大学進学率、国公立合格者を目指す。 ・ 公務員、就職者の内定 100%を目指す。 ・ 高大連携の推進による学びの深化と職業意識の

<p>く資質・能力の向上を図りたい。</p> <p>R5年度の大学進学率は、45.7%であり、国公立大学の合格者も6人と前年度を上回ることが出来、進路希望実現に成果を上げた。今後、地元の大学との高大連携を強化し、早い段階から進路実現に結びつける取組を推進したい。</p> <p>その一方で、遅刻や服装の乱れなど、基本的な生活習慣が身につけていない生徒が、一定数おり改善に向けた取組が必要である。</p>	<p>(3) 生徒の自律的な発達を支援し、基本的な生活習慣の確立と安全で安心な学校とする。</p> <p>(4) 業務の改善に着手し、教員の勤務時間に対する意識を向上させ、業務量の平準化を図る</p> <p>(5) 地域探究活動と地域貢献</p>	<p>高揚</p> <ul style="list-style-type: none"> 遅刻防止指導を行い。遅刻者を減らす。 身だしなみ指導を行い、高校生としての規律を守るよう指導する。 自転車乗車時の事故防止と交通安全を図る。 いじめ見逃しゼロを一層押し進める。 生徒指導研修の充実を図り、自殺予防やいじめ防止、SNSの使い方等に関して教員のスキルアップを図る。 ハイリスク生徒の把握と職員間での情報共有を図る。 <ul style="list-style-type: none"> 業務仕分けを行うことにより、教員の働く意識の向上を図る。 特定の教員に業務が集中しないよう、組織としての見直しを行う。 <ul style="list-style-type: none"> 「東(あゆ)の風プラン」等を活用して地域探究活動を深化させ、郷土の資源に目を向け、その活用を図ることのできる人材を育成する。 諸活動を積極的に推進し種々の広報媒体をとおして新潟東高校の魅力を発信する。 	
重点目標	具体的目標	具体的方策	評価
<p>(1) 観点別評価の着実な実施と指導と評価の一体化に向けた授業改善を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 観点別評価を確実に実施し定着を図る。 授業改善を行い「主体的・対話的で深い学び」を深化させる。 ICTの活用による個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 他校や県外校を視察し観点別評価について研修を行い、観点別評価を定着させる。 互見授業や研修会を行い、ICTを活用した授業改善に取り組む。 ベル着を徹底させるとともに、週末課題や日常的な家庭学習課題への取り組みをとおして、学習習慣を身につけさせる。 週末課題などを利用して、基礎学力や受験に対応できる実践的な学力の定着を図る。 	
<p>(2) 進路希望実現に向けた計画的な進路指導の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前年度同等の大学進学率、国公立合格者を目指す。 公務員、就職者の内定100%を目指す。 高大連携の推進による学びの深化と職業意識の高揚 	<ul style="list-style-type: none"> 3年間を見通した進路学習をとおして、早い時期から自己理解に努め、学習指導、生活指導と連携しながら職業観を養うことで進路目標を明確にする。 放課後講習や夏期講習などにより、進路希望を実現できる学力の養成に努める。 高大連携による活動、進路ガイダンス、進路だより、模擬授業体験、職場見学を通して進路意識の向上を図る。また、社会状況の変化に対応した進路情報を随時提供し、学習意欲を高めることで進路実現を目指す。 	
<p>(3) 生徒の自律的な発達を支援し、基本的な生活習慣の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻防止指導を行い。遅刻者を減らす。 身だしなみ指導を行い、高校生としての規律 	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻を昨年度の半分に減らすために、欠席した徒に対しては担任を通じて保護者との連絡を密にし、情報の共有を図る。 挨拶及び遅刻指導、校外自転車指導を実施する。 	

<p>と安全で安心な学校を作る</p>	<p>を守るよう指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ見逃しゼロを一層押し進める。 ・生徒指導研修の充実を図り、自殺予防やいじめ防止、SNSの使い方等に関して教員のスキルアップを図る。 ・ハイリスク生徒の把握と職員間での情報共有を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年毎の頭髪服装検査、及び服装チェック指導を実施する。 ・街頭指導、講習会等をとおして自転車の運転マナーの徹底を図る。 ・個人面談やアンケート調査により、いじめについての情報を共有し、早期発見、早期対応を図る。 ・年3回の生徒指導に加え、SCと情報共有を密に行い、多面的に生徒の状況把握に努め組織的な教育相談を行う。 ・学校行事や部活動、生徒会活動をとおして、生徒が主体的に活動する場面を増やし、生徒の発達を支援する。 ・教室等の校内美化を徹底するとともに、月1回保健だよりを発行し、感染症や自己の健康管理など健康・安全についての情報を提供する。 	
<p>(4) 業務の改善に着手し、教員の勤務時間に対する意識を向上させ、業務量の平準化を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・業務仕分けを行うことにより、教員の働く意識の向上を図る。 ・特定の教員に業務が集中しないよう、組織としての見直しを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校閉庁日及び定時退庁日を設定し、教職員の勤務時間に対する意識改革を進める。 ・掲示板や共有フォルダを効率的に活用するとともに、効率的に情報共有を行い業務がスムーズに進むようにする。 ・部活動数の見直しや部活動指導の適正化を図る。 ・ICTを活用し、業務の効率化を図る。 ・休暇を取得しやすい雰囲気を作り出し、早出遅出勤務がしやすい体制にする。 	
<p>(5) 地域探究活動と地域貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「東(あゆ)の風プラン」等を活用して地域探究活動を深化させ、郷土の資源に目を向け、その活用を図ることのできる人材を育成する。 ・諸活動を積極的に推進し種々の広報媒体をとおして新潟東高校の魅力を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「東(あゆ)の風プラン」の実践を利用して、学びの過程を意識づけさせ、仲間と協働して解決する力を身に付けさせる。 ・地域の方々に探究活動で学んだ成果を発表し助言をもらうことで、問いに対してより良い解決策を模索する。 ・地域からのボランティア活動の要請に応え、地域と密着した活動を行う。 ・ホームページやnoteを活用し、新潟東高校の魅力を発信する。 	
<p>成果</p>		<p>総合評価</p>	

